



北中 HP へ

## 備える ～1年間を締めくくる3学期～

2月になりますと次の学年へ向けての準備が大切になります。始業式で生徒達にも『3学期は学年の最後の時期。今の学年のまとめをしっかりとて、新しい学年に備えてほしい』と話しました。

『次に備えるためには、今を知ること』と言われる。この一年間で生徒達はとも成長しました。外見だけでなく心も成長したと思います。それは、生徒の「今」の様々な行動にあらわれています。友達との関係、見ているテレビ、読んでいる本、言葉遣い、趣味、親への態度・・・等、お子さんの何気ない様子を「心の成長」を視点に見ることも「親としての次への備え」と言えます。

よく、少年期の子どもには『手は離しても目は離すな』と言われる。当たり前のことですが、「子どもと本気で向き合い、うるさがられても子どもの行動から目を離さないこと」です。そうすることによって子どもの成長の過程を親としてしっかり受け止めて喜び、子どもと一緒に成長するための「親としての次への備え」ができるのではないかと考えます。



## 《子ども未来会議》 ～よりよい学校にするために私たちができること～

1月22日(水)、采女小児童14名、北中生徒15名が参加し、「境北中地区子ども未来会議」が開催されました。子ども未来会議とは、境北中学校区の児童生徒の代表が、各校の実践発表を行うとともに、学校生活や家庭生活を向上させるために、自分たちでできることや保護者に見守ってもらうことを話し合い、その取り組みを一層推進させるために行われる会議です。



まず、両校のより良い学校づくりに向けた1年間の取り組みの発表がありました。采女小学校からは、「あいさつ運動」「他学年との交流(ふれあいタイム)」「あったかハートキャンペーン」「いじめ防止活動」についての発表がありました。北中学校は「よく寝るアンパンマン(生活習慣の見直し)」「届け!優しいあの子のいいところ(優しい雰囲気の学校づくり)」「生徒集会(学年の垣根を越えた活気ある学校づくり)」「生徒会新聞の発行」について発表しました。

続いて3つの班に分かれ、『よりよい学校にするために、私たちにできること～インターネットの使い方についても考えよう～』をテーマに話し合いが行われました。自分の意見を書いた付箋を張りながら進めた話し合いでは、「児童会・生徒会活動の活性化」や「情報機器端末を使う上で注意すること」等について活発な意見交換が行われました。話し合いの内容は、1月29日(水)の生徒集会(リモート)において、生徒会本部役員から全校生徒に伝えられました。

今回の話し合いの成果を、充実した家庭生活や一人一人の個性が輝く学校づくりにいかしてしてほしいと思います。

